

保育士になりたい人を応援する社会福祉法人さとに会
保育士試験に合格するためのシナリオ（1）受験の考え方

1. 目的

受験の直前対策

受験のこれから対策

受験科目の絞り込み

実技対策ひとりごと

なるほど、覚えられる、解ける、面白い、楽しい

2. 働きながら受験する人が合格を勝ち取るために

試験は怖くない>まだ1科目もとれていないと不安が募る

1科目でも受かったときの喜び>次の試験はその受かったときの喜びをイメージする

受験にはコツがある 5割はほぼ問題をよく見れば解けるはず 後の1割ここがミソ

4割は間違えてもだいじょうぶの気持ち

出題の構成

1割は出題率が低くかなりの知識が必要 1割は出題率が高いが確かな記憶が必要

3割は過去問の変形 5割はほぼ過去問にある出題なので解答しやすいはず

解答のとき、5択をよく見ると2択になっていると気づく 時短と狙い打ち

○×の解答は出題をよく見て文言を理解すれば一般常識でだいじょうぶ

保育士試験のための記憶の仕方

3. 推奨テキスト

保育士完全合格テキスト 上・下 保育士試験対策委員会 株式会社翔泳社

この2冊があれば受験には十分！！

携帯して暗記したいときには科目ごとにカットしておくとう便利

4. 受験のコツ

徹底して過去問を解くことで出題を

A 科目を絞る

(1) 最初は9科目全て受験する

※4科目合格をめざそう！！

(2) 2回目は分析して難易度の高い方からか低い方からか絞り込み

※残り5科目の合格を目指そう！！

※難易度の高い科目が残りがちなので、教育原理、社会的養護、食と栄養など覚える

ことの多い科目は後回しでいいのでは

(3) 3回目で全科目合格を目指す

※難易度が高くても残り科目が少なくなれば集中して取り組める

B 過去問を利用する

(この方法は受験勉強の最初に使用し、直前はホームページを見ながら解答する)

(0) 5年分、前後期、同じ科目を集中して解く

(1) 一般社団法人 全国保育士養成協議会のホームページから過去問をプリント

※このときできれば両面で1ページに2面の印刷をすると携帯にも便利

(2) 過去問と解答をプリント

(3) 過去問に解答を「書き込む」

(4) 解答を暗記する

(5) 解答のキーワードをテキストで確認する

C 法律は主要な部分を押さえておく

法律には決められたルールがあり、流れを理解できると覚えていない文章、語句でも出題に対応できる

D イメージ記憶・どこかで見たような風景になるといい

あれ？これどこかで見た風景 なんとなく以前に歩いたところは覚えている

若い方で、他にも国家試験や資格試験を受験される方にはおすすめの勉強法

「岸本郁夫」「アクティブブレイン」で検索 (岸本 行央 (キシモト イクオ))

鳥取市内での受講機会もあります 勉強のための記憶や方法に絶対おすすめ

美味しいケーキに 食事まで うれしい おいしい たのしい

保育士試験に合格するためのシナリオ (2) 科目対策キーワード

保育原理

保育所保育指針

設備及び運営に関する基準

保育の人物、世界、日本

事例>常識の範囲で解答可能

保育所利用児童 (統計)

記録

草稿 2019.3.4